

令和4年度 「大阪の河川を愛する会」の活動について

<活動概要>

1. 通常総会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、総会については書面開催することとし、令和4年6月17日にメールにて会員に共有しました。総会は、3年連続での書面開催となっています。

2. 河川文化を語る会

令和4年11月28日(月)15:00~17:00に、公益社団法人日本河川協会との共催で「第206回 河川文化を語る会」をエル・おおさか(大阪府立労働センター)にて開催しました。

大阪での開催は17回目となり、独立行政法人造幣局の西正元造幣博物館長に、『「貨幣の歴史」～造幣局の歴史と大川のかかわり～』と題して講演していただきました。大阪府が管理する大川のほとりにある造幣局にて、どのように貨幣が製造されてきたのか、大川とのかかわりも交えてお話いただきました。当日は、50名の出席者で、普段聞けない話題だったこともあり、たくさんの質問があり、盛況となりました。



講演の様子



講演内容

3. 会員交流会(源流踏査)

令和4年12月21日(水)に、一級河川天野川、支川の尺治川において、河川の源流を調査するため、踏査を実施しました。当日は天候にも恵まれ、9名が参加しました。

天野川、尺治川では、100年堰堤と言われ、登録有形文化財となっている石積みの堰堤などもあり、せせらぎの音を聞きながら、美しい渓谷を散策し、貴重な源流踏査の機会となりました。



源流踏査の様子(尺治川 月の輪滝付近)



源流踏査の様子(天野川 砂防堰堤付近)

4. 令和5年度の活動予定

当会の目的である「河川のあり方の探求、情報の交流、知識の普及」などを旨とし、以下の活動を予定しています。

(1) 総会及び講演会(6月ごろ)

(2) 河川文化を語る会(大阪)の共催(11月ごろ)

(3) 会員交流会(源流踏査)(11月ごろ)

など